



第25回定期演奏会へのいざない

私たち札幌100交響楽団は、「100人で、100曲を、100年かけて」演奏しようと1989年10月に結成されました。音楽は専門家だけのものではなく、誰もが音楽を楽しみ、合奏に参加できるオーケストラを作ろうという思いが当団の活動の土台であります。それゆえに楽器を初めて手にする初心者から経験者まで演奏技量はさまざまですが、オーケストラの響きと上達を楽しみ、オーケストラの演奏活動を通して団員の輪を広げ団員同士の親睦と地域の方たちとの交流を図ろうと活動を行っています。

この度の演奏会は、1995年3月に行った「まず、さいしょのコンサート」（第1回定期演奏会）から数えて25回目の定期演奏会となり、同時に私たち札幌100交響楽団は創立30周年を迎えます。この記念となる第25回定期演奏会では『ベートーヴェン作曲 交響曲第9番ニ短調「合唱つき」』を演奏いたします。しかも演奏会場は、オープンして間もない北海道初の多面舞台を備えた札幌文化芸術劇場hitaruです。この演奏会にたくさんの方に足を運んでいただき、そしてこの演奏会を足掛かりとして、今後、さらにより多くの団員を迎え、私たち札幌100交響楽団のコンセプトをしっかりと次の世代につなげていくような演奏会と演奏活動に取り組んで参りたいと思います。

演奏会にて皆さまにお会いし、オーケストラの醸す音楽を会場の皆さまと一緒に楽しんでいただけることを心から願っています。

札幌100交響楽団 代表 泉 唯史



指揮・合唱指揮 | 上田 哲 (うへだ あきら)

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業。声楽を田中則子、野田廣志、平野則子、則竹正人、岡崎正治、菊池英美、故G.チャネンツラの各氏に師事。指揮を本多優之氏に師事。これまでにオペラでは『フィガロの結婚』、『ラ・ボエーム』、『トスカ』、『カルメル会修道女の対話』などに出演。札幌市民芸術祭新人音楽会、札幌市役所ロビーコンサート、JRタワー展望台「そらのコンサート」など多くのコンサートに出演。現在10以上の合唱団、オーケストラ、吹奏楽団、プロジェクトを指導し、さらに活動の幅を広げている。札幌放送合唱団、札幌100交響楽団、北海道ゲーム音楽吹奏楽団、旭山コールハミング、コールひまわり、インナーホイルクラブコーラス同好会、各指揮者。男声合唱団ススキノ副指揮者。コールアイオン客演指揮者兼ボイストレーナー。「サントリー一万人の第九」札幌クラス講師。「若者のための第九」代表。札幌音楽家協会会員。



ソプラノ | 中江 早希 (なかえ さき)

北海道出身。北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業。東京藝術大学修士課程音楽研究科声楽専攻独唱科、同大学院博士後期課程を修了。在学時、大学院アカンサス賞、三菱地所賞受賞。第14回日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門第2位。第12回 中田喜直記念コンクールにて大賞を受賞。第25回ハイメス音楽コンクールにて声楽部門第1位。第3回ジュリアード音楽院コンクール第1位。第11回東京音楽コンクール声楽部門第3位。旭川新人音楽賞、第27回道銀芸術文化奨励賞受賞。日生劇場主催オペラ『ドン・ジョヴァンニ』にてドン・アンナ役、『魔笛』にて夜の女王役を演じる。モーツァルトのコンサートアリアを歌った鈴木秀美指揮の初のライブ録音CDが2018年、特選盤に選出されている。



テノール | 岡崎 正治 (おかざき まさじ)

イタリアオペラを中心に主役を演ずる北海道を代表するテノール歌手。2012年1月に仙台で公演されたドニゼッティ「愛の妙薬」(ネモリーノ役にて出演)では、音楽の友誌上にて、また2015年1月に公演された北海道二期会50周年記念ヴェルディ「アイダ」(ラダメス役にて出演)では北海道新聞上にて、その歌唱力・演技力を絶賛された。1995年度新人音楽会にて、札幌市民芸術大賞・音楽家協会特別賞を受賞。平成13年度・第11回道銀芸術文化奨励賞受賞。現在、札幌大谷大学声楽科非常勤講師、北海道二期会会員、札幌音楽家協会会員、オペラファクトリー北海道副代表、Sound CreationTeaMS_Z(ティームズゼット)取締役。



アルト | 松田 久美 (まつだ くみ)

札幌大谷短期大学音楽科声楽コース卒業、同短大専攻科、研究生Ⅱ修了。札幌市民芸術祭新人音楽会出演。第4回東京国際声楽コンクール奨励賞受賞。2013年3月よりドイツケルンにて研鑽を積む。オペラ「フィガロの結婚」「ヘンゼルとグレーテル」「魔笛」「タンホイザー」「オルフェオとエウリディーチェ」など数多くのオペラ、演奏会へ出演。また、ヘンデル「メサイア」ベートーヴェン「第九」モーツァルト「戴冠ミサ」などのアルトソリストも数多く務める。2014年にソロリサイタルを札幌コンサートホールKitaraにて開催。大谷高校音楽同窓会「ペオニア」、札幌室内歌劇場各会員。エルム楽器声楽講師。



バリトン | 増原 英也 (ますはら ひでや)

名古屋市出身。琉球大学法文学部卒業。東京芸術大学大学院修士課程修了。安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会賞の各賞を受賞。イタリアオペラやモーツァルト作品を中心に国内のオペラ公演に多数出演。2010年より渡伊。パルマ国立音楽院を首席で修了。ディプロマを取得。パルマ国立歌劇場をはじめイタリア各地の劇場でオペラ公演に出演。2013年韓国テグオペラフェスティバル《ドン・ジョヴァンニ》に招聘出演。2014年帰国。二期会、日生劇場等のオペラ公演や、ミュージカル「レ・ミゼラブル」に出演するなど幅広く活動している。二期会会員。サントリーホール・オペラアカデミー・コーチングファカルティ。

札幌放送合唱団

1942年に創立、2017年に75周年を迎えた。1950年からほぼ年1回定期演奏会を開催し、今年で69回を数える。札幌定期演奏会、第9、PMF演奏会、NHKテレビ・ラジオに多数出演。92年には50周年ドイツ演奏旅行を実施。79年北海道文化賞、93年北海道開発功労賞(現在:北海道功労賞)他受賞。名誉指揮者・穴戸悟郎。2017年まで指揮者・大嶋恵人。2018年より指揮者・上田哲を迎えた。

CHOR AION (コールアイオン)

1980年創立。札幌の混声合唱団で大学生から60代まで30数名で活動中。常任指揮者の山吹達也と客演指揮者兼ボイストレーナーの上田哲による指導の下、ルネサンスから現代まで日本の合唱曲にとどまらない幅広い選曲で、年1回の定期演奏会その他、コーラスフェスティバル、市民合唱祭に出演。2017年市民芸術祭奨励賞を受賞。

未来倶楽部

2016年、中高の音楽教諭として教鞭を執ってきた阿部和佳代の教え子たちにより創立。高校生から60代まで幅広い年齢層で活動し団員数は80名を越える混声合唱団。札幌市民合唱祭や毎年3月に行う演奏会LA miamestraへの参加が主な活動となっている。2016年初参加で札幌市民合唱祭札幌市民芸術祭奨励賞、2017年には市民芸術祭大賞を受賞した。

札幌100フロイデ合唱団

今回のコンサートのために集まった約50人から成る合唱団。指揮の上田哲が指導する合唱団や企画コンサートのメンバーを中心に構成されている。合唱経験は様々だが、今回の記念コンサートに向けて練習に取り組んでいる。